

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	事業地の障害児が車椅子を利用することで、座位を保ち、自分で移動できるようになり、身体および精神面において健康的な生活ができて、将来自立できる素地を育成助長できる。
(2) 事業の必要性(背景)	イ) カンボジアでは貧困者比率が削減されているとはいえ、都市部では 22%、地方では 35%と依然として高い (JICA の貧困プロファイル調査による)。この様な、地方の貧困家庭では出産時や幼児期に発症した脳性マヒによる障害児が多く見られる。加えて、内戦時に埋設された地雷の被害により、身体的障害を負っている子どももいる。 2013 年の人口調査 (Cambodia Inter-Censal Population Survey 2013)によると、総人口 1467 万人に対して障害者の数は 2.06% に当たる 30 万 2 千人であり、そのうち身体的、精神的、知的障害が原因で車椅子を必要とする 18 歳以下の子どもは約 1 万 3 千人である。 ロ) 貧困家庭においては、経済的理由により車椅子を入手することができず、十分なリハビリテーションの治療や教育も受ける事が出来ないため、自宅で障害児は寝たきりの状態となっている。 車椅子がないため、治療やリハビリ指導を受けるために外出するときや、病院内及びリハビリセンター内では、家族や病院スタッフにとって障害児を介護や背負って運ぶなど負担も大きい。 ハ) 2013 年 9 月に当会の引渡式に於いての、日本の厚生労働省事務次官に当たる The Secretary of State of Ministry of Social Affairs, Veterans and Youth Rehabilitation=MoSVY のスピーチの中で “カンボジア政府は 2013 年 1 月に国連の障害者権利条約に批准し障害者の人権宣言と 2013-20 に権利を実現する戦略を受け入れる”と宣言した。これによって、カンボジアは海外及び国内の NGO と協力し、持続的なリハビリテーションのサービスを拡充強化するとともに、全国のリハビリテーションセンターの活動を強力に推進していく方針となった。 このスピーチの中で、日本の外務省の資金協力支援を受けた当会の車椅子供与のプロジェクトは障害者支援目標の達成のために重要な役割果たすものであり、宣言を遂行するための具体策として大きな役割をはたすものであると高い評価を受けた。 (現地の新聞のコピー添付) 二) 当会は 2010 年から N 連の支援で 3 年間に 320 台の障害児用の

	車椅子を全国の 12 か所にあるリハビリテーションへの供与を続けて、人道支援と医療福祉の改善に寄与してきた。 その結果、障害児の精神的肉体的な障害を取り除き、生活の改善や地域社会への参加をするなど自立のための支援ができ、地域社会で障害者の人権尊重と理解、健常者と同じ社会参加への支援等多くの成果が車椅子を通じて生まれた。これに対して政府関係者も理解を深め、認識を新たにした。 現在全国のリハビリテーションに車椅子を必要とする障害児が 5, 200 以上登録されている。これまでに供与した 320 台は登録された人数の 6%であり、全く充足されていないし、すでに貸与した子どもが成長して次の車椅子が必要になる。さらに新たな障害児が生まれることで個人は勿論地域社会のニーズに対応できていないのが実情である。 ホ) 当会が外務省のカンボジアに対して医療保健の分野に重点的に支援を行う方針に沿うものとして、JICA カンボジア同窓会である JICA-AC (JICA Alumni of Cambodia) や障害支援局の要請を受けて、障害者支援団体や地域社会の緊急性の高いニーズに応えるために実施した過去 3 回のプロジェクトについては、現地リハビリテーションの協力を得てモニタリングを行い、当会の車椅子が社会開発にその重要なツールとして貢献していると高い評価がなされている。 特に日本の障害児用車椅子は脳性マヒや脳障害による肢体不自由児にとって、機能的で治療に有効であり、国内で作られた車椅子と海外 NGO から供与された車椅子（中国製が多い）とは比較出来ないほど優れていることについて専門家からも評価を受けている。維持管理のための説明会も実施しており、現地語の保守管理マニュアルも配布している。
(3) 事業内容	1) 日本国内での事業： 首都圏の特別支援学校 16 校の P T A から車椅子が無償提供され、これらの車椅子をトラックで収集する。その後、日本で当会への協力団体「NPO 法人青少年自立援助センター」の技術訓練生が当会の整備担当理事の指導の下、収集した車椅子の修理整備を行う。 貸与する車椅子の準備完了後、専門業者に依頼し、海上輸送・現地陸上輸送を行う。 2) カンボジアでの事業： イ) プノンペン市内において各リハビリセンターの代表者を集め、

	車椅子の引き渡し式を行う。当会の理事と現地契約職員が引き渡し式に出席し、引き渡し式後に関係者を対象に保守・修理のためのワークショップを開く。また、引き渡し式会場において各リハビリテーションセンターと障害者支援学校が車椅子を受け取る。各施設の車椅子受領書署名は引き渡し式のスケジュールに組み込まれており、式後に当会理事の確認のもとそれぞれの施設に車椅子が引き渡される。また、各リハビリテーションセンターに所属する専門家（理学療法士、小児科医師）による障害児保護者に対する車椅子の使い方に関する研修を実施したうえで、各子どもの症状や発育状態に適合した車椅子を貸与する。 ロ) 車椅子の管理義務は契約書にしたがって MoSVY 障害者支援局が負う。各リハビリセンターでは車椅子の利用状況を毎年 MoSVY へ報告し、維持管理記録を作成し管理する。 また、当会の現地職員が JICA-AC と共に定期的にリハビリセンターを訪問し、利用状況のモニタリングを行い、結果を当会へ報告する。 破損や故障により車椅子に不具合が生じた場合は、リハビリセンターからの要請を受けて障害者支援局が当会に連絡し、当会は補修修理のために必要な部品を自己資金で購入し、無償で提供する。 ハ) 全ての車椅子には管理番号のステッカー、当会のロゴと ODA のロゴを貼付し、サイズを記した写真付きのリストを現地へ供与する。右リストは当会でも保管し、車椅子の故障等の場合には、リストを基に自己資金で部品を手配し、現地へ無償で提供する。 二) 車椅子に修理が必要となった場合は、各リハビリセンターのエンジニアが行う。そのために当会はクメール語でサービスマニュアルを作成し配布しており、修理の説明会も実施している。 供与台数： 160 台 供与先： 明細は添付のリストを参照。 <table border="0"> <tr> <td>① 全国リハビリテーションセンター10ヶ所</td> <td>128 台</td> </tr> <tr> <td>② 障害児支援施設センター7ヶ所</td> <td>27 台</td> </tr> <tr> <td>③ 厚生省障害児支援局</td> <td>5 台</td> </tr> </table>	① 全国リハビリテーションセンター10ヶ所	128 台	② 障害児支援施設センター7ヶ所	27 台	③ 厚生省障害児支援局	5 台
① 全国リハビリテーションセンター10ヶ所	128 台						
② 障害児支援施設センター7ヶ所	27 台						
③ 厚生省障害児支援局	5 台						
(4) 持続発展性	イ) 障害児の成長により車椅子が適合しなくなった場合は、各リハビリセンターの理学療法士の指導のもと、別の子どもへ引き渡すことで繰り返し利用する。						

	ロ) 上記したカンボジア政府事務次官のスピーチからも分かるように、これから障害者の権利の向上とリハビリテーションサービスを高めていくために、障害児へ車椅子支援は継続的に必要となる。 ハ) 当会としては、これら過去 3 回のプロジェクトは目の前の障害児の生活を支援するための緊急的支援活動であった。その実績と評価を踏まえ、カンボジア政府の要請に応じて障害児支援の拡充を図るため、今後は自己資金を基に供与を継続し、障害児用車椅子の個人および地域社会のニーズの充足度を高めるとともに、適切な活用と維持管理、再利用による受益者の拡大も図って、草の根レベルの人道支援の成果を上げて行く方針である。 二) 更に、現地政府に対して障害児福祉政策の向上につながるための車椅子の現地調達の可能性と助言、障害児に対する物理療法士のリハビリ治療の技術向上、自立支援、職業訓練等についての提言を行い包括的な支援をしていくプロジェクトとして取り組んでいく方針である。
(5) 期待される効果と成果を測る指標	◆ 障害児が車椅子を利用し、自宅や施設内を自分で移動することができるようになる。 ◆ 外出が困難であった子どもが外気や日光に当たることで精神的な健康が得られる。 ◆ 寝たきりであった子どもの座位が保たれることで骨や筋肉の発達が助けられる。また、飲食が容易にできるようになる。 ◆ 病院やリハビリセンターへ行く際に、家族や病院スタッフが背負ったり抱いたりする必要が無くなる。 以上の効果は、現地の契約職員と JICA-AC が共同で作成する報告書において確認する。 裨益者数 1. 本案件により供与される車椅子の利用者：160 名 2. 1. の介助者（主に家族）：家族 5 名 X160 =800 名 3. リハビリセンター職員・療法士：約 60 名 なお、車椅子は子どもの成長により適合しなくなった際に、別の子どもへ引き渡される為、裨益者数はさらに増える見込み。